

Ⅲ 定員管理・給与の適正化

1-1 定員管理の適正化

単位:人・%

区 分	各年4月1日の職員数						11.4.1~16.4.1 純減実績(H11-H16)	対11.4.1純減率((H11-H16)/H11*100)	各年4月1日の職員数						17.4.1~22.4.1純減計(H17-H22) (採用者・退職者の見込みは各計)	対17.4.1純減率((H17-H22)/H17*100)
	H11	H12	H13	H14	H15	H16			H17	H18	H19	H20	H21	H22		
一般行政部門	214	213	177	177	176	171	43	20.1%	156	153	151	147	144	140	16	10.3%
特別行政部門	49	47	49	47	44	41	8	16.3%	37	36	36	35	34	33	4	10.8%
うち消防部門							0								0	
うち教育部門	49	47	49	47	44	41	8	16.3%	37	36	36	35	34	33	4	10.8%
公営企業部門	135	134	164	160	162	162	▲ 27	-20.0%	164	164	164	164	164	164	0	0.0%
うち水道事業	7	7	7	7	7	7	0	0.0%	8	8	8	8	8	8	0	0.0%
うち病院事業	115	114	111	108	109	106	9	7.8%	104	104	104	104	104	104	0	0.0%
うち介護事業	9	9	42	41	42	44	▲ 35	-388.9%	47	47	47	47	47	47	0	0.0%
うち下水事業	4	4	4	4	4	5	▲ 1	-25.0%	5	5	5	5	5	5	0	0.0%
							0								0	
							0								0	
総合計	398	394	390	384	382	374	24	6.0%	357	353	351	346	342	337	20	5.6%
採用者(見込み)									5	4	4	4	8	4	29	
退職者見込み									22	8	6	9	12	9	66	

1 平成17.4.1~平成22.4.1までの定員管理の数値目標

(1) 数値目標の基本的な考え方

行政改革大綱に基づき、H30年までに100人の職員を削減する。

(2) 数値目標の設定の仕方

H18~21年までの退職者が5人以上ある

2 定員適正化計画の見直し状況(見直しの経緯、内容等)

行政改革の中で行われ、計画の見直しはしない。

羽後町集中改革プラン(参考資料)

様式Ⅲ-1

1-2 定員管理の適正化に伴う財政効果(目標)

単位:百万円

項目	削減状況	実施開始年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	合計
職員削減	職員数△4(357人→353人)	H17	32	32	32	32	32	32	192
	職員数△2(353人→351人)	H18		16	16	16	16	16	80
	職員数△5(351人→346人)	H19			40	40	40	40	160
	職員数△4(346人→342人)	H20				32	32	32	96
	職員数△5(342人→337人)	H21					40	40	80
									0
	小計		32	48	88	120	160	160	608
うち退職者不補充	職員数△4(357人→353人)	H17	32	32	32	32	32	32	192
	職員数△2(353人→351人)	H18		16	16	16	16	16	80
	職員数△5(351人→346人)	H19			40	40	40	40	160
	職員数△4(346人→342人)	H20				32	32	32	96
	職員数△5(342人→337人)	H21					40	40	80
									0
	内数小計		32	48	88	120	160	160	608
議員削減									
	小計								
うち退職者不補充									
	内数小計								

注) 1 別添の記載要領により記入すること。

2 「職員削減」欄には1-1で記入した職員について記入することとし、嘱託、臨時職員については内部管理経費の見直しに計上すること